

第68期 株主通信

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

■ 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、このたびの新型コロナウイルスに罹患された方々や、困難な状況におられるみなさまの一日も早いご回復と、事態の収束を心よりお祈り申し上げます。

ここに当社第68期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)における事業の概況につきまして、ご報告いたします。

代表取締役社長 **藤井 昌一**

■ 当連結会計年度の事業の状況

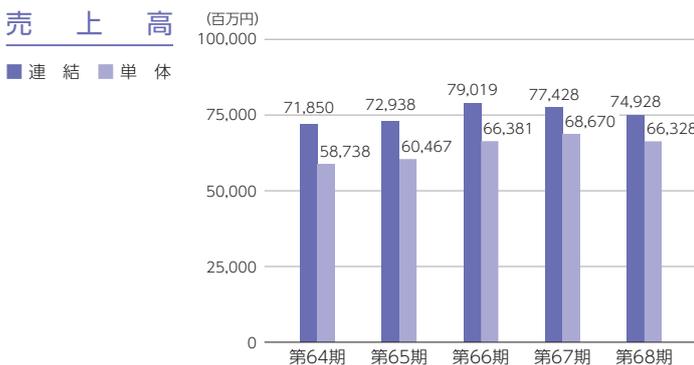
当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、ワクチン接種の進展に伴う社会経済活動の制限緩和により、一時は経済活動に回復傾向が見られました。しかしながら、オミクロン株の急速な感染再拡大、ウクライナ情勢の緊迫化や中国のゼロコロナ政策継続によるサプライチェーンの混乱や資材価格の高騰等、再び先行き不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは、首都圏エリア(千葉県千葉市)への出店や、M&Aによる子会社取得等拡大戦略を積極的に進めてまいりました。また、物流体制の見直しや仕入部門の強化等によるコスト管理の徹底により利益率向上に努めてまいりました。

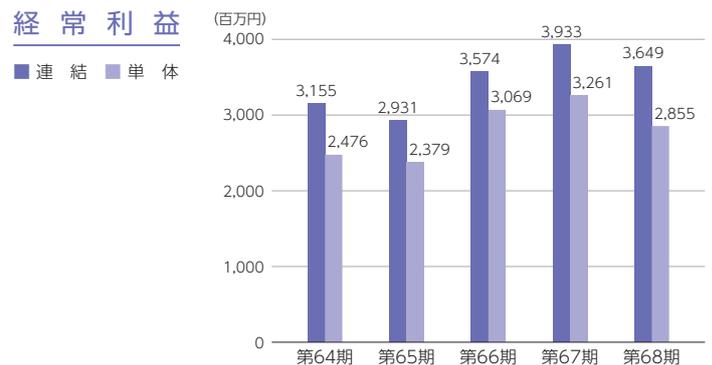
当連結会計年度の連結成績は、売上高749億28百万円(前期比3.2%減)、経常利益36億49百万円(前期比7.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、23億97百万円(前期比0.7%増)となりました。なお、収益認識に関する会計基準(企業会計基準第29号2020年3月31日)等の適用により、当連結会計年度の売上高は49百万円減少し、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ5百万円減少しております。

■ 業績ハイライト

売上高



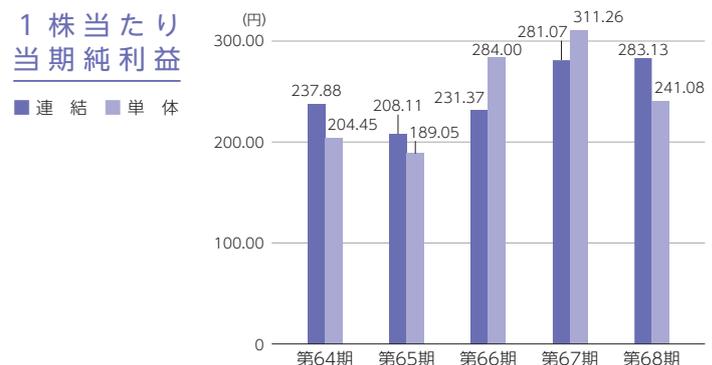
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



■ 連結決算のご報告

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	当 期 (2022年3月31日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)	科目	当 期 (2022年3月31日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	40,207	38,600	流動負債	21,119	21,638
現金及び預金	16,636	14,076	支払手形及び買掛金	16,322	16,342
受取手形及び売掛金	—	21,878	短期借入金	1,300	1,300
受取手形、売掛金及び契約資産	20,063	—	その他	3,497	3,995
商 品	2,452	1,607	固定負債	2,325	2,189
その他	1,054	1,038	退職給付に係る負債	1,084	1,051
固定資産	13,794	13,893	その他	1,240	1,138
有形固定資産	9,079	8,946	負債合計	23,444	23,827
建物及び構築物	2,608	2,705	純資産の部		
機械装置及び運搬具	2,793	2,895	株主資本	28,115	26,184
土地	3,183	2,970	資本金	1,883	1,883
建設仮勘定	72	—	資本剰余金	2,075	2,065
その他	420	375	利益剰余金	25,109	23,184
無形固定資産	311	393	自己株式	△ 953	△ 948
投資その他の資産	4,402	4,554	その他の包括利益累計額	519	625
投資有価証券	2,871	2,990	非支配株主持分	1,921	1,856
その他	1,531	1,564	純資産合計	30,556	28,666
資産合計	54,001	52,494	負債純資産合計	54,001	52,494

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	当 期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	前 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	74,928	77,428
売上原価	62,769	65,163
売上総利益	12,159	12,265
販売費及び一般管理費	9,022	8,866
営業利益	3,136	3,399
営業外収益	559	596
営業外費用	47	61
経常利益	3,649	3,933
特別利益	143	45
特別損失	23	123
税金等調整前当期純利益	3,769	3,855
法人税、住民税及び事業税	1,075	1,305
法人税等調整額	153	35
当期純利益	2,540	2,514
非支配株主に帰属する当期純利益	143	134
親会社株主に帰属する当期純利益	2,397	2,380

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	当 期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	前 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,686	5,330
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 491	△ 1,381
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 635	△ 2,609
現金及び現金同等物の 増 減 額	2,560	1,340
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	14,076	12,736
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	16,636	14,076

連結株主資本等変動計算書 当期 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
2021年4月1日残高	1,883	2,065	23,184	△ 948	26,184	656	△ 31	625	1,856	28,666
会計方針の変更による累積的影響額			3		3					3
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,883	2,065	23,188	△ 948	26,188	656	△ 31	625	1,856	28,670
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 465		△ 465					△ 465
自己株式の取得				△ 4	△ 4					△ 4
親会社株主に帰属する当期純利益			2,397		2,397					2,397
連結子会社株式の売却による持分の増減		10	△ 10		0					0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			0		0	△ 121	15	△ 105	65	△ 39
連結会計年度中の変動額合計	—	10	1,921	△ 4	1,927	△ 121	15	△ 105	65	1,886
2022年3月31日残高	1,883	2,075	25,109	△ 953	28,115	535	△ 15	519	1,921	30,556

■ 単体決算のご報告

貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	当 期 (2022年3月31日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)	科目	当 期 (2022年3月31日現在)	前 期 (2021年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	35,958	35,066	流動負債	18,727	19,458
現金及び預金	12,902	10,669	支払手形	1,135	1,388
受取手形	5,009	4,690	買掛金	13,136	13,307
売掛金	10,545	15,938	短期借入金	1,200	1,200
契約資産	2,977	-	その他	3,255	3,563
商品の他	2,290	1,417	固定負債	1,402	1,379
その他	2,231	2,351	退職給付引当金	957	908
固定資産	8,888	8,968	その他	444	470
有形固定資産	4,938	4,942	負債合計	20,130	20,837
建物	1,316	1,392	純資産の部		
機械装置	830	883	株主資本	24,483	22,907
土地	2,519	2,387	資本金	1,883	1,883
建設仮勘定	72	-	資本剰余金	2,065	2,065
その他	200	279	利益剰余金	21,483	19,907
無形固定資産	119	152	自己株式	△ 948	△ 948
投資その他の資産	3,830	3,873	評価・換算差額等	234	289
投資有価証券	1,062	1,125	純資産合計	24,717	23,197
関係会社株式	1,056	902	負債純資産合計	44,847	44,035
その他	1,711	1,845			
資産合計	44,847	44,035			

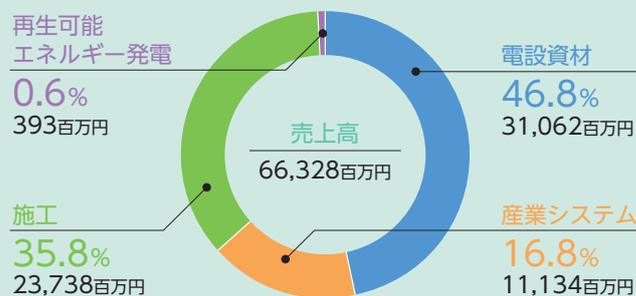
損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	当 期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	前 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	66,328	68,670
売上原価	56,132	58,374
売上総利益	10,196	10,296
販売費及び一般管理費	7,925	7,572
営業利益	2,270	2,723
営業外収益	628	596
営業外費用	43	58
経常利益	2,855	3,261
特別利益	86	558
特別損失	-	123
税引前当期純利益	2,941	3,696
法人税、住民税及び事業税	751	1,018
法人税等調整額	148	42
当期純利益	2,041	2,635

Point

当期売上高構成比(単体)



当期部門別売上高(単体)

(単位：百万円)

電 設 資 材	31,062	(前期比 4.3%増)
産 業 シ ス テ ム	11,134	(前期比 12.6%増)
施 工	23,738	(前期比 17.1%減)
再生可能エネルギー発電	393	(前期比 3.4%増)

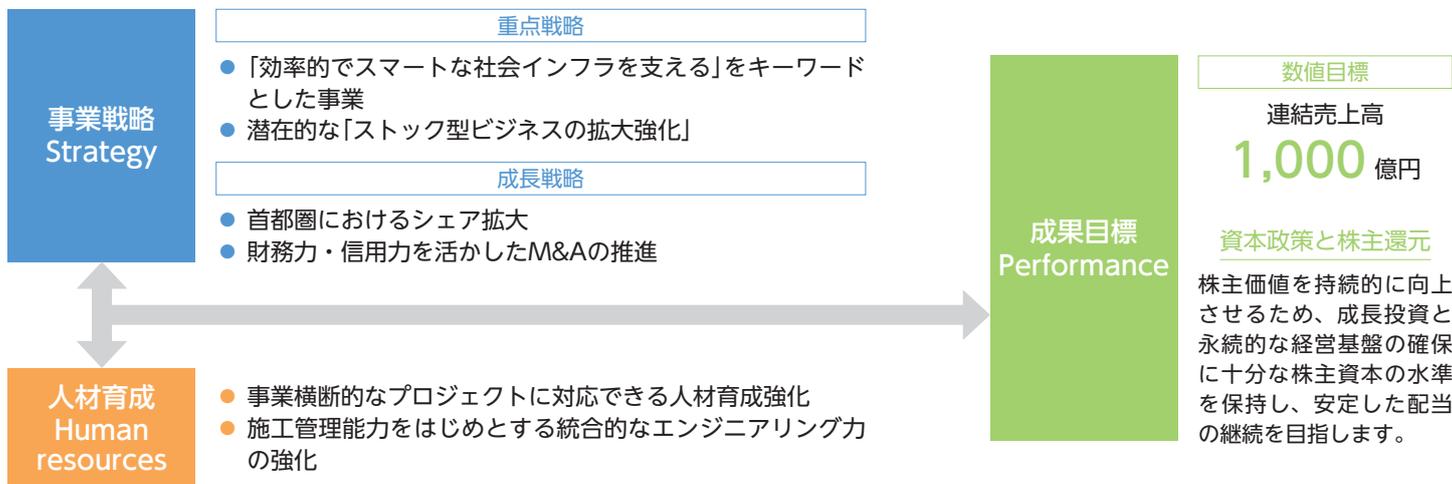
株主資本等変動計算書 当期 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本						自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	利益剰余金		その他利益剰余金		資本剰余金				
		資本準備金	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金					
2021年4月1日残高	1,883	2,065	174	6,100	13,632	△ 948	22,907	289	23,197	
事業年度中の変動額										
剰余金の配当					△ 465		△ 465		△ 465	
自己株式の取得						△ 0	△ 0		△ 0	
当期純利益					2,041		2,041		2,041	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								△ 55	△ 55	
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	1,575	△ 0	1,575	△ 55	1,520	
2022年3月31日残高	1,883	2,065	174	6,100	15,208	△ 948	24,483	234	24,717	

■ 今後の展開について

当社は2022年4月1日より社内カンパニー制を導入し、マテリアルイノベーションズカンパニー、インフラソリューションズカンパニーとコーポレート本部の体制でスタートしました。権限の委譲と責任の明確化により、事業特性に応じたフレキシブルな制度等の構築を可能とすることで自律的成長を促し、事業間シナジーの最大化、コスト構造の最適化を目的としております。それぞれのカンパニーにおいて下記重点戦略、成長戦略や人材育成を加速させ、中長期における連結売上高1,000億円を目標として事業展開してまいります。



■ TOPICS

株式会社コアミ計測機の株式取得による子会社化

国土交通省が推進するデジタルトランスフォーメーション(DX)に関する施策は、道路、河川、ビル、公園などあらゆるインフラを3Dデータ化、さらに時間・コスト軸を加えることで設計・施工のみならず維持修繕や災害予想、コスト予想に活用することなどを目指しています。この領域において、(株)コアミ計測機は測量、設計段階からICT建機までの対応をシームレスに技術提案サポートし、建設業におけるDX化の実現に貢献してまいります。



■ コーポレートデータ (2022年3月31日現在)

会社概要

■ 商号	藤井産業株式会社 (Fujii Sangyo Corporation)		
■ 本社	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地41番地3 ☎028-662-6060(代表)		
■ URL	https://www.fujii.co.jp		
■ 設立年月日	1955年12月27日		
■ 資本金	1,883百万円		
■ 従業員数	859名(契約・パート183名含む)		
■ 役員	(2022年6月27日現在)		
代表取締役社長	藤井 昌一	取締役	北村 康行
取締役専務執行役員	滝田 敦	取締役	竹澤 一郎
取締役専務執行役員	関 勝利	取締役	入江 淳子
取締役専務執行役員	渡邊 純一	<small>(注)取締役北村康行氏、竹澤一郎氏及び入江淳子氏は監査等委員である取締役であります。取締役竹澤一郎氏及び入江淳子氏は社外取締役であります。</small>	
取締役常務執行役員	小林 建一		
取締役常務執行役員	大久保 知宏		

株式の状況

■ 発行済株式総数	10,010,000株
■ 1単元の株式数	100株
■ 株主数	1,080名

株主メモ

■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	毎年6月に開催
■ 基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
■ 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
■ 公告方法	電子公告(https://www.fujii.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

▶ 各事業所のご案内はこちらをご覧ください
<https://www.fujii.co.jp/company/office/>



藤井産業は、国連が提唱するSDGsに賛同し、持続可能な世界の実現をめざします。